



[様式第3号]

資料提供年月日	令和5年2月6日	
問い合わせ先	課名	高齢者福祉課
	電話	直通 803-1230 内線 5957
担当者	職名・氏名	課長 高木
	職名・氏名	主任保健技師 岡崎

広 報 連 絡

- 1 件 名 岡山市内のカフェと連携し、認知症の人とともに活動する事業をスタートしました
- 2 趣 旨 市では、認知症の人やそのご家族の声を聴いたうえで行う地域づくりの取り組み「認知症サポーター活動促進事業」（チームオレンジ）を本年度からスタートしています。
このたび、市内では初となる企業と連携した取り組みとして、財田小学校区にて「さんかく屋根の会」が活動を始めました。
- 3 内 容
(1) 場 所 コメダ珈琲店 東岡山店（中区神下）
(2) 回 数 毎月第3火曜日14時～16時（企画等は、別日に集まることも有）
(3) 内 容 コメダ珈琲店の店員（企業）、地域住民（認知症サポーター）と認知症当事者や家族が参加します。
認知症カフェ（オレンジスペース）の活動を通して、認知症当事者やその家族の声を聴き、認知症の当事者・家族のやりたいことができる集いの場を企画していきます。
- 4 備 考 2月21日（火）14時から、2月の定例会を行います。当日は新規の認知症当事者とその家族が参加する予定です。なおプライバシー配慮のため、参加者との事前調整等が必要ですので、取材をご希望の社は事前に高齢者福祉課までご連絡ください。

（裏面あり）

- ※ チームオレンジ（認知症サポーター活動促進事業）とは、
認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続ける上で、ソフト・ハード面のバリアを減らしていくため、地域住民、企業・団体、医療福祉関係者等の連携と協力のもと、認知症当事者がどう暮らしていきたいかの声を聴いた地域づくりを進めていくことです。岡山市では、チームオレンジの活動を通して「当事者・家族」が「自分の希望」を「地域で発信できる場」の構築をすすめ、令和7年度までの間に各福祉区で1つ以上の活動開始を目指しています。

- ※ 認知症カフェとは、
認知症の人とその家族、地域住民、専門職など誰もが気軽に参加できる集いの場です。認知症に関心ある人、認知症に対して不安を抱いている人など、どなたでも参加ができます。



令和4年12月開催の様子

「つながる」ことで前に進める！



認知症の人や
その家族が
「自分の希望」
を地域で発信
できる場



自分らしく生きられる地域へ



岡山市

の

チーム

オレンジ

中区財田小学校区

さんかく屋根の会

次の内容で開催しています。

開催日 毎月第3火曜日
(定例)

※オレンジスペースで本人や家族など参加者の声を聞き、企画などは別日で集まる場合があります。

時間 14時～16時

場所 コメダ珈琲店東岡山店
※活動内容によって場所が変更することがあります。

チームの特色

認知症の人と家族、認知症サポーターがコメダ珈琲店東岡山店で開催している認知症カフェ（オレンジスペース）で出会い、令和4年11月にチーム名を決め、活動に向けて集まりはじめました。

美味しい飲み物を片手に、「何ができるか。何がしたいか。」本人・家族の声を聴くことを一番大切にして取り組んでいます。仲間と繋がりたいという声から、当事者・家族の集える機会を計画しています。

「自由に参加して自由に話せるのが良い。」「今日も笑ったなという思いが残る」（認知症当事者）

「本人の笑顔が見たい」「介護する仲間とつながりたい」（家族）

「まずは本人・家族の声を聴いて一緒に考えるところから！」
（認知症サポーター）

チーム名の由来は、コメダ珈琲店は建物の形から「三角屋根の店」と呼ばれる。屋根の「三角」とメンバーの「参画」から「さんかく屋根の会」に決定。

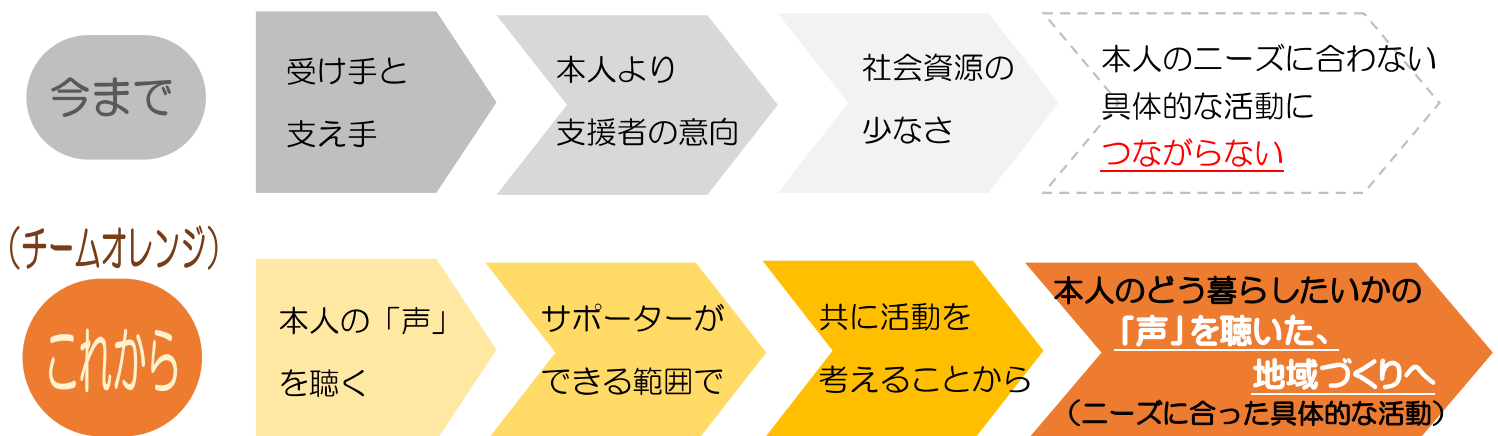


岡山市の誰もが 自分の希望を叶える地域へ

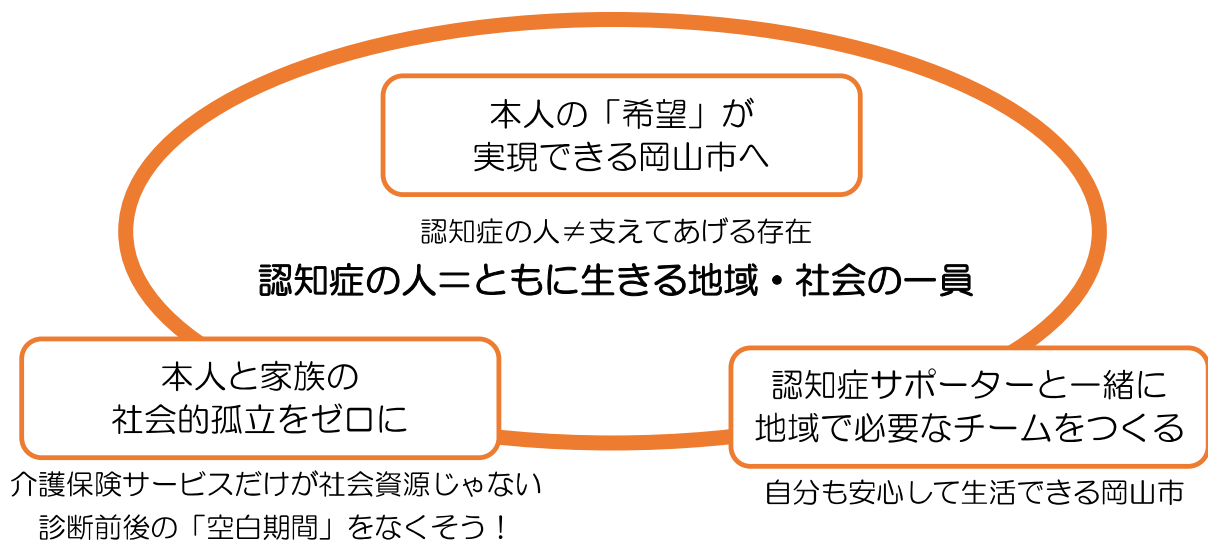
チームオレンジとは

認知症の人が住み慣れた地域で暮らし続ける上での色々なバリアを減らしていく取り組みをすすめ、地域・企業・医療・福祉を含めた関係者と協力者のもと、「認知症の人がどう暮らしていきたいか」の「声」を聴いた地域づくりの活動です。

活動の、今までとこれから



チームオレンジで目指すこと



認知症サポーターになりませんか？

認知症のことを正しく理解し、認知症の人やその家族を見守る応援者・理解者です。認知症サポーター養成講座（無料）を修了いただいた方にサポーターとなっていていただきます。講座は定期的実施しています。興味のある方は、（公財）岡山市ふれあい公社地域包括支援課（086-274-5136）へお問合せ下さい。

